

# 一小・一中の一貫教育



発行：須賀川市立第一小学校・須賀川市立第一中学校

## 須賀川一小・須賀川一中の小中一貫教育をご紹介します

須賀川市では全中学校区で小中一貫教育を行っています。須賀川一小と須賀川一中でも小中一貫教育の推進を図っております。両校は、校舎が離れていて、小中一貫教育の分類では「分離型小中一貫教育」に分けられますが、同じ学区であり、一小の卒業生がほぼ100%一中に進学してくるといった一つの小学校と一つの中学校で小中一貫教育を行うというメリットがあります。そのため、須賀川市が平成26年度から全市で本格的に小中一貫教育を導入する以前から小中連携が盛んでした。そのような状況から、現在でも、小中一貫教育が盛んに行われている状況です。そんな一小と一中の小中一貫教育を紹介させていただきます。

## なぜ小中一貫教育なのか

これまでの小学校6年間と中学校3年間でそれぞれが教育活動を行っていましたが、6・3制が導入された1946年当時と社会状況や子供たちの発達段階が大きく変わってきました。さらには中学1年生での教科担任制などの中学校生活に戸惑いを感じたりして、不登校の数が増えたりしています。また、現在の小中学生は自尊心や自己肯定感が他の国の子供たちと比べて低いとも言われています。このような課題を解決するために、小・中学校の環境の急激な変化を少しでも緩和したり、9年間継続した学習指導や生活指導を行うことによって、義務教育終了(卒業)段階でめざす子どもの姿を共有したり、小中の接続や9年間の積み上げなどを考慮した教育を行うことで、より大きな教育成果をあげることができるのが、小中一貫教育のメリットと言われています。



小中一貫教育グランドデザイン

## 小中一貫教育グランドデザインと目指す子どもの姿

一小、一中ではお互いに教育目標を設定しその具現化を図っていますが、一小・一中の9年間でどんな児童生徒を育成していくかを教職員で話し合っ、小中一貫教育グランドデザインを作成しました。

9年間の求める児童生徒像を「**自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども**」とし、小中一貫教育を行っています。

具体的な目指す子どもの姿は右表のとおりです。小学校・中学校ともに、それぞれ自校の教育目標の具現化とともに、小・中学校共通の目指す子ども像の具現化に取り組んでいます。

### 【豊かな心】

- ・ 気持ちのよいあいさつができる子ども
- ・ 時、場、目的に応じたけじめのある言動ができる子ども
- ・ 自他を認め、声をかけあい、高め合う子ども

### 【確かな学力】

- ・ 基礎的・基本的事項を身につけている子ども
- ・ 教科の特性に応じた学び方を身につけている子ども
- ・ 自ら考え友だちと学び合い、探究する子ども

### 【健やかな心と体】

- ・ 健全な生活習慣を身につけている子ども
- ・ 望ましい食生活に関心をもち、体力向上に向けて努力する子ども

一小・一中で目指す子どもの姿

## 小中一貫教育シンボルマーク

一小と一中の小中一貫教育の象徴として、平成28年11月にシンボルマークを制定しました。当時の須賀川一中の美術部の2年生、二瓶愛梨さんが制作したものを採用させていただきました。

小学校の校章の桜と水、中学校の校章の牡丹とS字を組み合わせたデザインです。

さらに、さまざまな場面で活用するために、令和2年10月には、シンボルマークをデジタル化しました。このシンボルマークのように、小学校と中学校が手を取り合っ、9年間の一貫した教育を行ってまいります。



一小・一中の校章をベースにしたシンボルマーク

# 一小・一中ではこんな小中一貫教育の取組を行っています

一小・一中ではどんな小中一貫教育を行っているのか、具体的に紹介いたします。

## 小中一貫授業研究会

一小・一中では年2回授業研究会を行っています。お互いの子ども達の学びの姿や指導方法を理解することで、小中の系統的・継続的な指導の確立を目的としています。

またこの授業研究会では、小・中の教員が一緒に指導するチームティーチング方式で行われています。



## 一小交流サポート授業

一中教員が一小に向向いて、一小の授業に参加して、一小の先生と連携しながら指導していく「一小交流サポート授業」を行っています。

中学校のより専門性の高い教科担任制を実施することで、一足早い中学校の授業が体験できるとともに、中学校教員にとっては、小学生の学びの姿を理解することで、中学校での指導にも役立っています。



## 6年生中学校体験

一小の6年生が、一中の授業や部活動を体験することによって、中学校生活を理解するとともに、中学校への進学に期待する心情を高めることを目的に毎年10月に行っています。中学校生活で楽しみにしている授業や部活動を実際に体験したり、中学生と触れあったりしながら、中学校生活に対する期待を高めています。



## 小学3年生松明見学

今年度は「松明あかし」自体が規模縮小で行われたため、一中でも松明を製作しませんでした。そのため、小学3年生の松明見学も中止になってしまいましたが、例年、中学3年生が製作している様子を見学しています。また、松明製作を行うようになったら、須賀



川市の伝統である「松明あかし」の実際の製作に触れ、いつか自分たちが作る日を楽しみにしてほしいと思います。

## 一小・一中子どもを育てる会

毎年夏休み前に、一小・一中の子ども達の健やかな成長のためと安全・安心な環境を確保するために、学校・PTA・警察・行政・町内会・老人会・育成会などの各種団体が集まって話し合いを行っています。登下校の様子や学区内・通学路の危険箇所確認、地域内での子ども達の様子などの情報交換を行うなど、地域の方々や関係機関と連携を深めています。



## 合同学校評議員会

一小・一中ともに、年3回の学校評議員会を行っています。第2回目は小中合同で開催しています。会場は一小と一中を隔年で設定しています。内容は、授業参観、各学校からの現状と課題の説明、学校評議員の皆様からのご意見をいただくなどしています。同じ地域の一小・一中で情報共有を図り、9年間で子どもたちを地域とともに育てていくために貴重な会となっています。



## PTA合同懇親会

毎年1月の第3金曜日に、一小・一中のPTA合同懇親会を開催しています。小・中学校のPTAが主催し、一小・一中の保護者、教職員が集まり交流を深めています。また、来賓として同窓会長様や前PTA会長様をお招きし、一小・一中の子ども達の健やかな成長のために親睦を深めながら、楽しいひとときを過ごしています。一小・一中の保護者の皆様、機会がありましたら、ぜひご参加ください。



このように、一小・一中では、これまでの長きにわたって綿々と受け継がれてきた伝統を生かしながら、様々な機会を通じて、一小・一中の児童生徒の健やかな成長のために、9年間の系統的・継続的な指導を行い、小中一貫教育を推進してまいります。そのためには、保護者や地域の方々、さらには関係機関のご理解とご協力をいただきながら、地域と共にある学校づくりを行わなければなりません。須賀川を愛し、未来の地域や社会に貢献する人材育成を行ってまいりますので、これまで同様、両校へのご支援を賜りたいと思いますので、よろしく申し上げます。

